



事務事業名	児童虐待防止対策事業	事務事業No.	10102000463	所属課	児童福祉課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
平成25年度に児童虐待防止対策緊急強化事業補助金で購入した備品を有効的に活用するため事業開始。虐待通告数は年々増加しており、虐待の未然防止のためにも、妊娠期から学童期への切れ目ない支援が求められている。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
特にありません					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

現 状 維 持		評 価 項 目	
現 状 維 持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	児童福祉の向上につながり市の政策に結びつく。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	児童虐待防止に関する事業であり公共関与は妥当である。
有 効 性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	各学校の思春期教育などの実施状況・実施内容を確認し、市専門職と協働する仕組みを検討することで、更なる質の向上を目指すと考え。備品の有効活用により、引き続き各小・中学校で保健教育等を実施し、児童虐待の未然防止につなげる。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	児童虐待防止に関する正しい理解が得られず、児童虐待の未然防止ができない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む) ) (他に手段がある場合)	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	他に類似事業がありません。
効 率 性	⑥事業費・人件費の削除余地 (成果を下げずに事業費を削除できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	事業費は、児童虐待防止月間の啓発事業に伴うオレンジリボンの材料費であり、削減の余地はない。
	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	桜川市民が対象であり公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
①目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	児童虐待防止月間の啓発のため、市職員や市民へ啓発品を配布して啓発に努めた。昨今の虐待通告数の増加を踏まえ、更なる低年齢児からのいのちの教育を始めとする思春期教育の質の向上が必要と考える。各学校の現状、課題を確認し、福祉と協働する体制が整えることで専門職も介入した、質の向上につながるのではないかと考える。																							
②有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
③効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
④公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 今後の事業の方向性																									
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																							
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																							
養護教諭部会などの協力も得ながら、アンケート調査や各学校の養護教諭等との対話を基に各学校の現状・課題を確認。福祉と協働し、改善できる箇所を明確にし、改善策を学校側と一緒に検討し、更なる質の向上を目指す。また学校・教育委員会とも密に連携し、虐待の早期発見に努める。また、児童相談所を始め関係機関との連携を重要視していく。		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">維持</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上	コスト			削減	維持	増加	維持			○						低下				
成果	向上	コスト																							
		削減	維持	増加																					
維持			○																						
低下																									
(6) 事務事業優先度評価結果		成果優先度評価結果																							
		③																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A：継続(現状維持) C：終了、廃止、休止 B：継続(改革改善を行う) D：2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>